

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制（農業使用基準等）等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第1号 畑作物

発行日 平成22年 3月24日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ（電話 0197-68-4435）

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

【小麦】ほ場が乾いたらすぐに麦踏み・追肥を行いましょう！
また、排水対策の見直しも忘れずに行いましょう。

1 麦踏み

越冬前に麦の生育が旺盛な場合は、生育を均一にし、かつ耐倒伏性を高める効果もあります。鎮圧ローラーやタイヤなどを用いて麦踏みを行いましょう。消雪後の茎立ち前、圃場が乾いているときに行います。ただし、排水不良の圃場や土壌水分が極端に高い場合は、土壌が固結し根の発育障害がみられるなど、かえって圃場を荒らすこともあるので無理な実施は避けます。

麦踏みの効果：根の浮き上がりを抑える。茎数の増加、耐寒性と耐干性の強化。生育の均一化、倒伏防止、主稈や早期分けつ茎の幼穂の形成を遅らせて凍霜害を回避するなど。

2 融雪期追肥

融雪期追肥は下記の表を参考に生育量を確認してから行いましょう。茎立ち前までに適期を逃さず作業することが重要です。また、白鳥による食害を受けた場合や縞萎縮病にも、融雪期追肥が有効です。

表1 生育量に基づく融雪期窒素追肥の目安

| 品種名 | 診断内容 | 融雪期窒素追肥の対応 |
|--------|--|------------|
| ナンブコムギ | 越冬後株数 75～120株/m ² (茎数 400～1000本/m ² 程度) | 2kg/10a |
| | 越冬後株数 120株/m ² 以上 (茎数 約1000本/m ² 以上) | 追肥しない |
| ゆきちから | 越冬後茎数 1400本/m ² 未満 | 4kg/10a |
| | 越冬後茎数 1400～1900本/m ² | 2kg/10a |
| | 越冬後茎数 1900本/m ² 以上 | 追肥しない |

3 除草

圃場を観察し、雑草が生えそろうたらすぐに茎葉処理剤を散布しましょ。ラベルをよく読んで使用しましょ。

4 コムギ萎縮病、縞萎縮病について

どちらの病気も土壌伝染性のウイルスが原因となっており、種子伝染はしません。名前のとおり株が萎縮し、黄緑色のかすり状の斑点・モザイク症状を示します。特にナンブコムギでは多発圃場が年々増加しており、今年も被害が大きくなることが予想されます。

萎縮病の症状が見られた場合は、追肥で被害を軽減しましょ。

5 排水対策

昨年秋に行った排水対策も、冬の間排水溝が崩れたり、途中にゴミが詰まっていたりして、うまく排水できない場合があります。ほ場を点検して確実に排水できるよう補修を行いましょ。

麦の湿害は生育初期よりも融雪期から生育後期の方が大きいといわれています。例年、隣接する水田からの流入水等の影響で生育の悪いほ場が散見されます。畦畔を整備するとともに、茎立ち前に、ほ場内排水溝を設置しておきましょ。

次号は4月22日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。